

# サイボウズ ガルーン<sup>®</sup>2 導入事例

## 株式会社シーエー・モバイル

### C.A. MOBILE

本社所在地	: 東京都渋谷区桜丘町 20-1 渋谷インフォスタワー 6階
創業	: 2000年(平成12年)5月31日
資本金	: 1,889,750,000円(2006年9月30日現在)
代表取締役社長	: 外川 穰(そとかわ ゆずる)
従業員数	: 311名(2006年9月末現在)
事業内容	: モバイルメディア事業・モバイルメディアレップ事業 ・モバイルコンテンツ事業・モバイルコマース事業・ モバイルソリューション事業
URL	: <a href="http://www.camobile.com/">http://www.camobile.com/</a>
利用製品	: 「サイボウズ ガルーン 2」

## 売上770倍の急成長を支える情報共有システムをポータル型グループウェアで実現!

### 導入の背景

業績、社員の拡大にあわせ情報共有環境を強化したい

株式会社シーエー・モバイル(以下シーエー・モバイル)は、2000年5月に業界初のモバイル専門マーケティング会社として、7名の社員により設立されました。以降、携帯電話市場の拡大やiモードの普及とともに業績は順調に拡大し、現在では携帯電話における「広告」「課金」「物販」の3つを事業の柱として事業を展開、設立から5年がたった2005年度には売上はおおよそ770倍に、さらに社員数は300名近くまで急な成長を遂げました。

「会社設立時はともかく、社員が20名を超えるあたりから『AG』による情報共有、特にスケジュール共有への依存度が上がってきました。また、社員の増加に伴い、オフィスの増床を行ったのですが、やはり社員が別フロアに別れる環境となると、もはや『AG』なしで情報共有を行うことはできませんでした」(福田氏)

それだけ活用していた「サイボウズ AG」でしたが、いろいろと問題も出てきました。

「やはり社員が増えたことで、ツールとしてのキャパシティの問題が顕在化してきました。また『AG』の導入からずいぶん時間がたったこともあり、最新のグループウェアにリプレースし、情報共有環境の強化を図ることにしました」(鈴木氏)



コンプライアンス室 グループリーダー 福田 幹氏

### 導入の決め手

スムーズな移行がひとつの条件だった

グループウェアのリプレースが決まり、シーエー・モバイルでは数社の製品を検討することになりました。

「検討を進める中で、条件のひとつとして考えたのがツールのスムーズな移行でした。これまで『AG』を使うことで蓄積してきたデータももちろんですが、さらに『AG ワークフロー』で蓄積されたデータを、いかに新ツールに引き継ぐかが大きな課題となりました」(福田氏)

この点を重視したシーエー・モバイルでは、同じサイボウズ製品という安心感から、最終的に「ガルーン 2」の導入を決めました。

# サイボウズ ガルーン<sup>®</sup>2 導入事例

売上 770 倍の急成長を支える情報共有システムをポータル型グループウェアで実現!



総務グループ グループリーダー 鈴木 絵里奈氏

## 導入効果

アクセス管理により内部統制を強化

当初の想定通り、ツールおよびデータの移行は極めてスムーズに行われました。

「基本的な機能は、『AG』を継承しているのので、社員に対して改めて教育をする必要がなかった点は大きかったですね。細かい部分で機能がブラッシュアップされていて、社員の満足度もとても高いものがあります。」(鈴木氏)



「専務のブログ」へのリンクや全社通知が掲載される全社ポータルのトップ画面

# サイボウズ ガルーン<sup>®</sup>2 導入事例

## 売上 770 倍の急成長を支える情報共有システムをポータル型グループウェアで実現!

また、「ガルーン 2」ならではの機能も利用しています。

「グループウェアとは別に wiki を使った社内報も利用しているのですが、システム連携の機能を使うことで、wiki の画面をガルーンに取り込み、タブ切り替えだけで同一画面内に表示させるようにしています。以前に比べ使いやすさが向上したと評判です」(鈴木氏)

また、コンプライアンスの観点からも「ガルーン 2」への移行は有益であったと評価されています。

「『ガルーン 2』は非常に柔軟なアクセス権限の設定ができるので、見せていい情報と駄目な情報、見ていい人と駄目な人を厳格に管理することができます。この点は昨今話題のコンプライアンスや内部統制の観点からとても大事なことで考えています」(福田氏)

### 今後の展望

#### 本格的な EIP の構築に向けて

シーイー・モバイルでは今後の課題としてワークフローの移行を挙げています。

「弊社では『AG ワークフロー』のモバイル機能を利用して携帯電話からもワークフローを利用できるようにしていました。最近、『ワークフロー for ガルーン 2』もモバイル対応になったので、こちらも『AG』から『ガルーン 2』への移行を検討しているところです」(福田氏)

またシーイー・モバイルはグループウェアのさらなる発展も計画しているそうです。

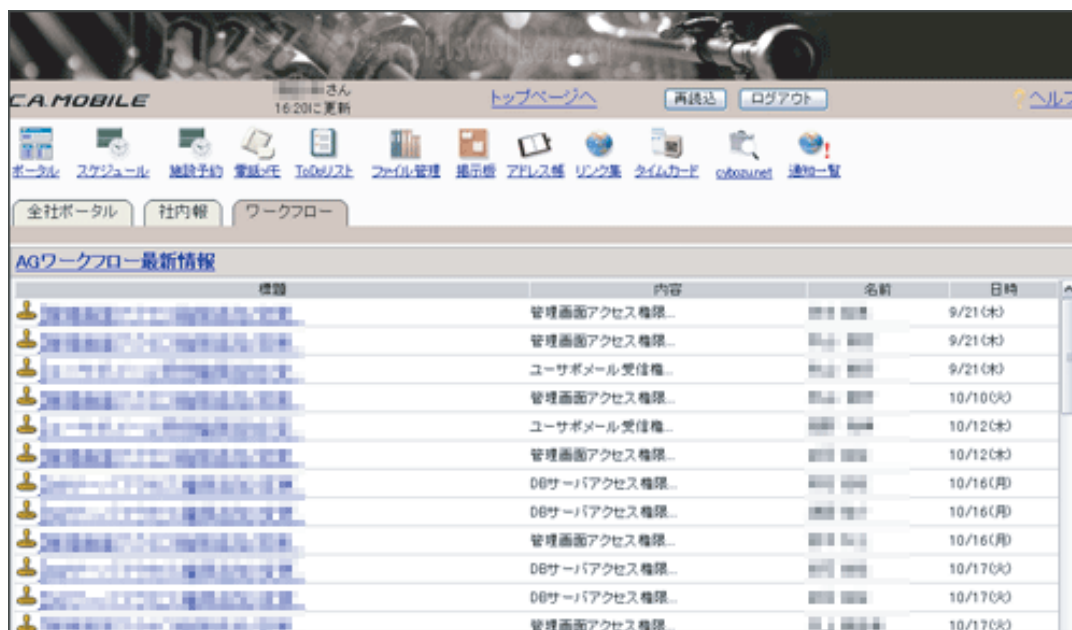
「スケジュールなど、社員間の情報共有という側面から考えると、現状のガルーン 2 はほぼ理想的なものだと考えています。ただ弊社としてはこれをさらに一歩進めて、本格的な EIP、いわゆる企業ポータルの構築を目指しています。そのためには今以上に柔軟な他システムとの連携が不可欠です。サイボウズにはより柔軟なシステム連携機能の実現をお願いしたいと思います」(福田氏)



社内報サーバーに「ガルーン 2」から簡単にアクセスできるよう改善

# サイボウズ ガルーン<sup>®</sup>2 導入事例

売上 770 倍の急成長を支える情報共有システムをポータル型グループウェアで実現!



現状は「サイボウズ AG」のワークフローを「ガルーン 2」のポータルとして読み込み活用

## ご利用環境

サーバー OS	Linux
Web サーバー	Apache
CPU	Xeon 3.4GHz
メモリ	4GB
HDD	Ultra 320 SCSI